

富山大学では、本事業において「創薬・ヘルスケア研究」、「先端抗体開発研究」、「カーボンニュートラル研究」の各事業に取り組むとともに「**全学的研究支援体制の強化・体制整備**」を行うことで、研究の多様性・卓越性、イノベーション創出、地域の産学官ネットワークの連携等の各機能の強化を図る。

(1) 地域中核大学としての取り組み

1) 多様性と卓越性

- 多様な研究領域の研究者が連携した研究プロジェクトや研究拠点を戦略的に形成し個人研究からチーム型研究へシフト
- 創薬・ヘルスケア、カーボンニュートラル研究等で卓越した研究成果を着実に輩出

○TOP10%論文

R3年度：112報

R4年度：162報

R5年度(12月末)：189報 **R3年度→R5年度(12月末)68%増**

○総論文数に占める割合

R3年度：9.0% R4年度：13.8% R5年度(12月末)16.3%

2) 社会実装・イノベーション

- 富山県「くすりコンソ事業」とも連携し、医薬品分野のアカデミア発シーズ実用化に取り組む。
- 地域の企業・自治体と連携し、アルミリサイクル研究での材料開発から社会実装に至る一貫通貫の体制を整備。

○共同研究受入額

R3年度：3.14億円 R4年度：3.37億円

R5年度(11月末)：3.59億円

R3年度→R5年度(11月末)14%増

○特許出願数

R3年度：65件 R4年度：55件 R5年度(11月末)54件

**自己分析5
(目標を大幅に上回る成果)**

3) 地域貢献

- 富山県「くすりコンソ事業」や高岡市「脱炭素先行地域事業」に参画、富山県の基幹産業である医薬品産業及びアルミ産業の振興、社会システム改革及び人財育成等、地方創成と地域イノベーションに貢献

○受託研究受入額

R3年度：9.03億円 R4年度：9.21億円

R5年度(11月末)：10.45億円 **R3年度→R5年度(11月末)15%増**

自己分析4 (順調)

4) 研究環境(研究支援体制等)

- URA等を増員し、社会実装のための研究支援体制を重点整備

○競争的研究資金申請数 R3年度：955件 R4年度：964件 R5年度(11月末)：967件

○競争的研究資金獲得額 R3年度：13.1億円 R4年度：15億円 R5年度(11月末)：15.2億円

R3年度→R5年度(11月末)16%増

自己分析4 (順調)

5) マネジメント(経営力)

- 研究環境改善のため、重点研究領域のセンター化、間接経費を活用した若手研究者の採用、各種制度整備や産学連携本部の機能強化等を実施

○1件当たりの受託研究及び共同研究受入額

(受託) R3年度：4.4 R4年度：4.7 R5年度(11月末)：5.6

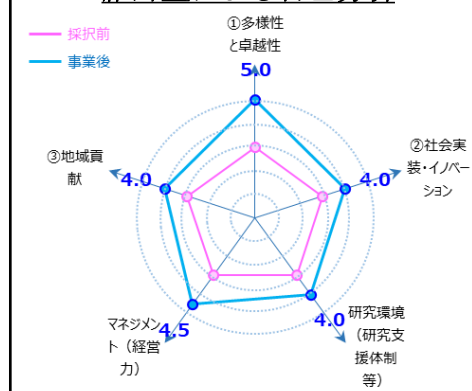
(共同) R3年度：1.1 R4年度：1.3 R5年度(11月末)：1.4

※金額単位：百万円

R3年度→R5年度(11月末)27%増

**自己分析4.5
(目標を上回る成果)**

羅針盤による自己分析



(2) 地域連携した社会貢献の取組を通じて得る外部資金獲得額増加に係る実績

年度	R3	R4	R5(11月末)	R5目標	R6目標
外部資金獲得総額(億円)	11.3	14.3	11.5	12.5	14.5
案件数(件)	60	59	63	63	66

《特筆すべき取組の概要》

経産省(産学連携推進事業費補助金)10億円, 富山県1億円, 高岡市0.25億円
 日本有数のアルミ産業集積地である富山県高岡市にDX対応のアルミリサイクル技術実証・検証ミニプラントを設置。産学官民一体となった循環経済型イノベーション都市の構築による社会システム改革に取り組む。

(3) アワード獲得の効果

研究支援体制、マネジメント機能の強化を図りつつ「創薬・ヘルスケア」「先端抗体開発」「カーボンニュートラル」の各事業を引き続き実施。自己分析において、「順調」とした観点を中心に強化を図り、全ての項目において目標を大幅に上回る成果(自己分析5)を目指す。

